



都留市CS通信

～谷村第二小学校のコーディネーター事例～

令和8年3月吉日 地域・教育コーディネーター 作成

3年生総合「三吉探検隊」

谷二小
3年生

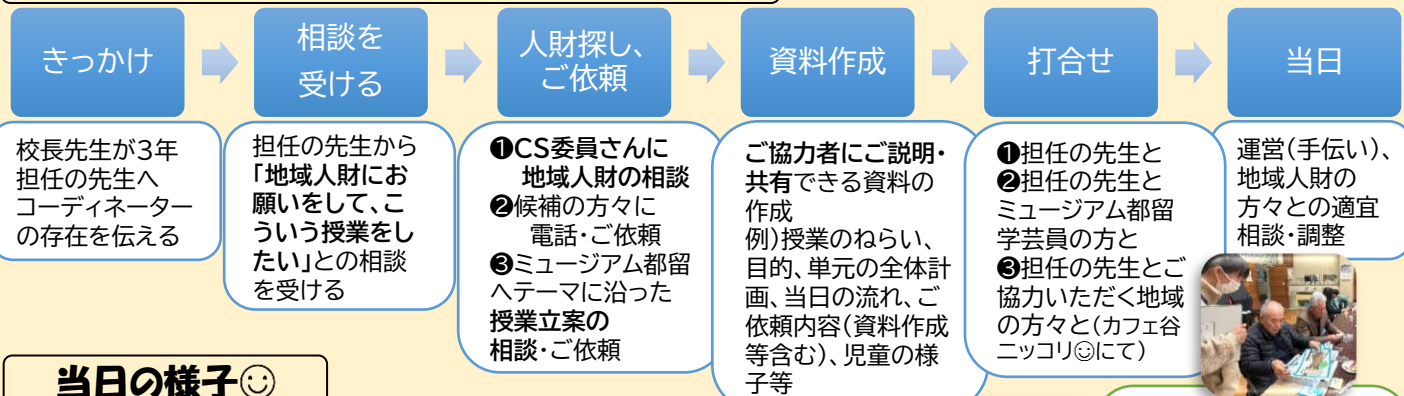


CS委員をはじめ
とした地域の方々

ミュージアム都留

令和8年2月、3年生の総合「三吉探検隊」の授業が行われ、そこにはCS委員を含む地域の方々や「ミュージアム都留」の学芸員の方々の姿が。まさに、地域資源（ひと・こと・もの）を活用した授業が行われました。

コーディネーターの経緯(コーディネーター目線)😊



当日の様子😊

1日目 授業開始！（2時間）
 【自己紹介】地域の方々4名（相川さん・佐藤さん・志村さん）ミュージアム都留の方々2名（知念さん・三浦さん）
 【授業】ミュージアム都留知念さんの授業！
次回は、みんなでフィールドワークだ！

2日目 「本時の目標」：今と昔をさがしに行こう！（3時間）
 【ねらい】今当たり前にあるものを見に行き、その昔について知る。
昔の暮らしや昔の人の思いに触れる、考える、感じる
 【ルート】谷村第二小から専徳寺までエリア
 昔の水路、昔の学校（跡地）、昔は無かった道、遺跡など！

フィールドワーク (本物に触れる) → 「なぜ？」予想する → 事実や苦労を知る → **グループワーク** (思いを知る) → 振り返る

なぜ“三吉”？
空から見た三吉！
200年前の三吉！
実は谷二小の足元には遺跡が..！？遺跡って？

協働による効果・成果😊

- 児童** 話しやすくいろいろなことを聞いて勉強になった。昔のことに詳しい人にもっと話を聞きたい！もっと聞いて物知りになりたい😊
- 地域** 子どもたちと地域の人間関係を作っていくきっかけになる！地域のことを知ってもらえて嬉しい😊

- ミュージアム都留** 事前に先生のニーズを踏まえた授業・体制が構築できた！我々が知らない地域の歴史・文化を地元の方から学ぶ機会となった😊
- まとめ** 学びに幅や深みが生まれた😊（ミュージアム都留の知識や専門性+地域の方々ならではの知識や実体験、記録や思い）

- 先生**
 - 地域の方々と密に話す機会は貴重で充実したものになった様子😊少しずつ「質問をする力」が育まれた。
 - 児童が、自身の関心と地域で見聞きしたものを結びつけて考えることができていた😊
 - ひろげる“わくわく”と、ひろげたゆえの“難しさ”を体感しました！
 - 教師の自分自身も地域のことを知れる、地域の方々あと知り合えるきっかけになりました😊！

課題・改善点😊

- 学校、先生の目的目標の共有と、その達成に向けたカリキュラム設計及び効果検証の方法の協議
- 児童の問いや主体性を引き出す手立ての協議と共有（コミュニケーションの手段や役割分担等）



3/17
発表会

“地域とともにある学校”へ、「カフェ谷ニッコリ☺」(月1)

谷村第二小学校では、地域と学校の垣根を越えて、地域の方々が学校で気軽に談笑できる場として、「カフェ谷ニッコリ☺」を昨年度から月に1回程度開催しています。今年度は多い日には20名程度が集まりました。地域の方々や先生、保護者、時に児童も一緒にお茶を飲みながら会話ができ、**地域とともにある学校づくりの“拠点”**とも言える場となってきました。また、授業参観や谷ニショウタイム（児童が得意を披露！）等と併せて開催されることが多いため、子どもたちの様子を見ることもできます。



カフェ谷ニッコリ☺が生むもの

- みなさんのお仕事や得意を知れる
- 昔の三吉地域や学校の話を知れる
- 楽しい交流！（地域の方が作ったゲーム等）
- 先生が探している地域人財を探ることができる
- 学校と地域と一緒にできることを模索することができる
- 放課後子ども教室の指導員さんが集まって打合せができる
- 学校運営協議会の打合せができる
- 地域人財を活用した授業の打合せができる
- 地域の大人同士が知り合うことができる
- 地域と学校と子どもと家庭間で「顔が見える関係性」を築ける
- 相互理解が深まり“自分ごと”になっていく（愛着の醸成）等



この“場づくり”はコーディネーターやCS委員が担っていきたいところです。

課題☺

- カフェスタッフ
- 情報発信 等

他地域の事例☺

- 岩手県大槌町「井戸端会議室」
- 山口県長門市「地域交流室」
- 岡山県美作町「ボランティアルーム」



コーディネーターの役割とは

- ① 学校理解（教育活動を知る）
- ② 先生との信頼関係づくり
- ③ 地域人材の発掘・把握
- ④ 学校と地域のコーディネート
- ⑤ 活動の振り返りと継続づくり



～コーディネーターとは～

- ★何かと何か（学校と地域、地域と地域等）をつなげる活動を行う存在
- ★学校においてはチームの一員であり、地域の現状を知っている存在
- ★地域においては地域住民の一員であり、学校の実情を理解している存在

学校と地域をつなぎ、子どもの学びを広げる

（地域と一緒に、地域みんなで、子どもたちを育む）

そのための、架け橋となる（協働に欠かせない）存在

**地域・家庭・学校・子ども間の連携・協働の持続発展へ向けて
少しずつ土台作りと種まきをしてまいりましょう！**